

## オルティノ

### オルティノ仕様

製品仕様	
W1,220mm×L50m (VJC、VJQ、VJVシリーズは40m) 厚み約0.2mm(剥離紙は除く)	
製品特徴	リアルな質感の粘着剥付き化粧フィルムです。他の製品と柄を揃えた施工が可能で、デザインの可能性が大きく広がります。柔軟性が高く、曲面への施工が可能です。
柄	豊富なラインナップを揃えております。(全600点、内運動柄300点) ※同柄表示については、同じ柄番号であっても、使用する原材料・製造方法の違いにより色調・質感(ツヤやエンボス感など)が異なります。 また、光源や見る角度によって色調が異なる見える場合があります。連続する平面でご使用される場合は、同じ化粧材をご使用いただくが、事前に半尺角サンプル等にてご確認ください。
用途	オルティノは壁面、什器、装飾部材など多くの表面装飾に使用することができます。柔軟性が高く、3次曲面への施工も可能です。(VEX、VKG、VJV、VJQ、VJCシリーズは3次曲面への施工はできません)
柄・エンボスの方向性	裏面離型紙の向きと同じ方向に合わせて貼り付けるのが標準です。フィルムの裁断位置により突き合わせ部の色の異なる場合がありますのでご注意ください。
ロットによる色のバラつき	厳重な品質管理のもとで製造しておりますが、ロットにより色調差が生じることがありますので同じ面に使用する場合は異なるロットを使用しないでください。
継目	オルティノはロールの途中に継目が入る場合があります。
防火性能	オルティノはASTM E84の試験でClass Aとなります。(VEXシリーズは除く)

素材	
塩化ビニル	

### 一般物性データ

項目	評価方法	測定値	
寸法安定性	アルミニウム板に貼り付けた100mm×100mmの試料の中央にクロスカットを入れ、65℃に48時間放置後、クロスカットの最大隙間を測定。	最大隙間 0.3mm以下	
耐摩耗性	オルティノHD	8000回転以上	
	オルティノ	テーパ式摩耗試験機(摩耗輪CS-17、1kg荷重)による摩耗終点。	
	オルティノEX (VEXシリーズ)	1500回転以上	
耐熱性	アルミニウム板に貼り付け、65℃に連続28日放置後の接着力。	異常なし	
耐湿性	アルミニウム板に貼り付け、40℃、湿度90%に連続28日放置後の接着力。	異常なし	
耐候性	オルティノ	サンシャインウエザーマーター-250時間。	
	オルティノEX (VEXシリーズ)	メタルウエザー-500時間。	
温度環境安定性	アルミニウム板にフィルムを貼り付け、-20℃、65℃にそれぞれ12日放置。	剥がれや変色なし	
耐低温衝撃性	0℃で24時間放置後、衝撃試験。	ひび割れ発生せず	
接着力	各基材に接着し、48時間後引張速度300mm/分、180°方向に引き剥がす。(N/25mm)		
	基 材	プライマーなし	プライマー塗布
	木質系合板	5	35
	せっこうボード	—	12*
	けい酸カルシウム板	5	33
	ステンレス	36	—
	アルミニウム	26	—
	亜鉛メッキ鋼板	28	32
塩ビ鋼板	41	42	
アクリル板	33	36	

■上記値は代表的な製品の測定値であり、保証値ではありません。接着力は商品により若干異なります。 \*：せっこうボードの基材破壊  
 ■プライマーが必要な下地および使用プライマーについては、アイカホームページより施工説明書をご参照ください。プライマーについては、アイカ専用プライマー(P.72)をご使用ください。

耐薬品・耐溶剤性	
表面に以下の薬品を滴下、時計皿で6時間被曝した後水洗いし、室内に24時間放置後、表面を観察する。	
エタノール	○
n-ヘキサン	○
トルエン	△
酢酸エチル	×
MEK	×
アンモニア水	○
塩酸10%	○
苛性ソーダ10%	○
アセトン	△
ベンゼン	○

○：変化無し  
 △：軽微変化  
 ×：表面に変化あり

耐汚染性	
表面に以下の物質を24時間接触後、中性洗剤またはエタノールで拭き取った後の表面を観察する。	
紅茶	◎
コーヒー	◎
ヨウ素アルコール	△
食酢	◎
クエン酸	◎
クレヨン	○
靴墨	△
事務用インキ	◎
醤油	◎

◎：中性洗剤で拭き取れる  
 ○：アルコールで拭き取れる  
 △：若干しみ残る

### ▲安全にご使用いただくために

- 本製品を安全にご使用いただくために、次の点にご注意ください。
1. 運搬・取り扱いの際は、保護手袋を着用してください。
  2. 加工時は、保護メガネ・防塵マスクを着けて作業してください。
  3. 加工時、粉塵は、金属の粉塵と区別し、粉塵爆発対策を行ってください。
  4. オルティノの粘着剤を皮膚に接触させないでください。
  5. 荷扱い

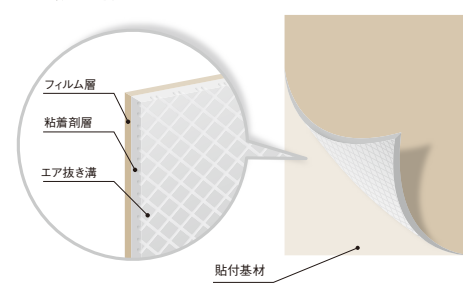


**応急処置**  
 ●粉塵が皮膚に付着したり、目・鼻・口に入った場合は水で洗い流し、異常を感じたら速やかに医師の手当てを受けてください。  
 ●火災の時は、水・霧・泡・化学消火剤で消火してください。

### 屋外でご使用いただく場合

ご使用上の注意  
 原則として、オルティノは内装での使用を前提に設計しています。屋外に使用される場合は、☞マークの表示がある製品からお選びください。なお、日光がよく当たる部位や、常に雨掛りがある部位にご使用いただく、変色や剥がれが発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。ご使用時には施工説明書の注意事項に従いご使用ください。

### エア抜き接着加工について



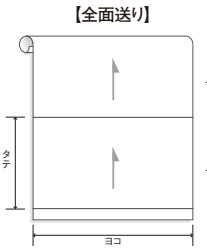
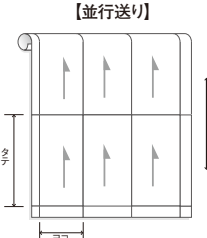
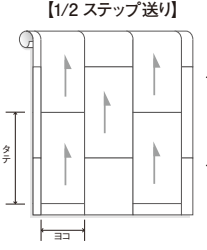
貼り付け時のエア抜きが簡単できれいに仕上がります。

オルティノは粘着面に格子状のエア抜き溝を設けています。貼付基材とフィルムの間に入った気泡は溝に沿って排出されるので、広い面積や複雑な面への貼り付けが素早く簡単に行えます。

※圧着が不十分な場合、接着不良を起こす恐れがありますので十分に圧着を行ってください。  
 ※下記製品の粘着面はフラットタイプとなります。施工の際はご注意ください。  
 VKG 6000A、VKG 6400A  
 VJQ 18154F～15157F  
 VJV 18215F～18216F  
 VJC 18215F～18216F

### 柄リピートの送りパターン

リピートは製造工程上の特性により、ばらつきが避けられません。表示されている数値は参考とし、この数値による材料取や裁断をしないようご注意ください。



**オルティノ 施工上の注意点**  
 オルティノ施工時には、必ず施工説明書をご参照ください。

### ご使用上の注意

施工環境		
低温時の注意	10℃以下になりますと粘着力が低下し、密着不良によるシートの膨れ・浮きが発生することがあります。施工現場の温度環境が10℃以下の場合、環境温度を上げ、なおかつ下地を温めてください。低温時はフィルムが裂けやすくなるためご注意ください。	
白化の注意	フィルムを折り曲げて貼る場合、低温時や製品によっては白くなる場合があります。ドライヤーで温めながら施工してください。但し、熱の当て過ぎは、表面外観を損なう恐れがありますので、ご注意ください。	
日光下の注意	日光に照らされた下地は高温となっている場合があります。この場合、粘着が弱くなる恐れがあるため位置決め等、調整の際はご注意ください。また、時期によっては下地に急激な温度変化が生じる恐れがありますので、ご注意ください。また、変色や剥がれが発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。	
高温時の注意	高温環境下ではフィルムが柔軟になり、施工しにくくなる場合がありますので、ご注意ください。	
湿度	下地に湿気があると貼り付けができません。十分乾燥した後、施工してください。	
照明	暗所での作業は、気泡や異物などの仕上がりに欠点の発見を困難にしますので、十分な明るさを確保してください。	
環境 ホコリ	ホコリ・チリなど極力なくしてください。	
環境 静電気	静電気が発生しやすい場合は体に帯電などで水をかけてください。	
施工後の環境	常時50℃以上となる場所や水中への施工は避けてください。	
屋外での施工	施工対象品	屋外に使用する場合は、☞のついた品番から選択してください。傾斜面や水平面に使用した場合の耐候年数は垂直面の場合より短くなります。
	貼り付け面	
	浸水についての注意	常に雨かきのある部分での使用は剥がれ、浮き、変色の原因となります。ご注意ください。
	下地の注意	木やケイカル板など水分を含みやすい下地への施工は剥がれ、浮き、膨れ、カビ等の不具合が発生する恐れがありますので避けてください。
施工時の天候の注意	悪天候下での施工は避けてください。	

柄画像 品番一覧 木種別品番一覧 品番対比表 プラスワンダーフィルム メラミンタイル メラタック/メラタックウイテルタクト マグネットメラミンE.V. バスフイットパネル 仕様とご注意

# 仕様とご注意

柄画像 品番一覧 木種別品番一覧 品番対比表 オルティノ関連商品 プラスワンダーフィルム メラミンタイル メラタック/メラタックワイルドテクト マグネットメラミンE.V. バスフィットパネル 仕様とご注意

## オルティノ

施工場所	
注意	重ね貼りの場合、サンドペーパーでフィルム表面を十分にサンディングしてから、アイカ専用プライマーを塗布してください。
不燃について	重ね貼りをした場合、不燃材料とはなりません。
プライマー	必ずオルティノ表面にアイカ専用プライマーを塗り、十分乾燥してから貼ってください。
サンディング	接着力を向上させるため、下地のフィルムをサンディングしてください。特に、オルティノEX、ハイグロス(VKG)、オルティノHD、インバトマット、スムースマットは特殊表面のため、必ずサンディングしてください。
エンボス・仕上げ	エンボス、仕上げによっては重ね貼りにくいものがあります。
下地の色	製品の色が下地の色の影響を受ける場合があります。
下地基材の影響	特に平滑で光沢の高い柄については、下地基材の影響で仕上がりの外観が悪くなる場合がありますので、試験貼りを行ってください。
養生テープ	粘着・養生テープをフィルム表面に長時間貼ったままにしないでください。剥がす際擦れや柄の剥がれが生じる恐れがあります。

施工時の注意点		
フィルム表面の傷	ロールからフィルムをカットしたり、巻きなおしたりする際、フィルム表面に傷がつかないようにご注意ください。	
圧着	圧着するときは、フィルムの表面に傷が付かないように、スキーに柔らかい布を巻きつけるなどで擦りつけてください。	
離型紙の剥がれ	ロールからフィルムを巻きだして、平面状にする時、離型紙とフィルムが剥がれることがありますのでご注意ください。	
一時保管の注意点	裁断後の一時保管はロール状にし、端部をテープで止めてください。	
引き伸ばし	シートを過剰に引き伸ばすと、色調や柄を損なう恐れがあります。	
突合せ	突合せ貼りした場合、施工後に隙間が生じる場合があります。特に濃色フィルムの場合には隙間が目立つことがありますので、フィルム施工に先立って突合せとなる部分の下地にフィルムと同系色の色を塗っておくことをお勧めします。突合せ部の下地基材にはアイカ専用プライマーを2度または3度塗ってください。	
シワ	施工後のフィルムに力が常時加えられる場合、フィルムにシワが発生する場合があります。力が加わらないよう施工してください。シワが発生した場合、施工後のフィルムをドライヤーなどで温めて、接着力を上げるよう施工を軽減できる場合があります。	
離型紙の滑り	離型紙を放置しないでください。転倒や倒壊の原因となります。	
角への施工や引き伸ばして施工する場合	入隅、出隅、3次曲面での施工についてはアイカ専用プライマー処理を行い、接着強度を高めてください。	
水廻り	下地	耐水性のある基材を使用してください。
	継ぎ目	フィルムの継ぎ目部分は重ね貼りやコーキング処理などの止水処理を施してください。
重ね貼り	アイカ専用プライマー塗布の上、重ね貼りにしてください。	

施工後の注意点		
接着力	粘着剤は時間とともに下地との密着性が上がるように設計されています。貼り替えなどによりシートをはがす際、下地の種類によっては基材をいためる恐れがありますのでご注意ください。	
下地基材の影響		
下地の色や平滑性によっては、フィルムの色・柄・光沢に影響を受けることがあります。特に平滑で光沢の高い柄や発色の良い柄については、下地基材の影響で仕上がりの外観が悪くなる場合がありますので、試験貼りを必ずご確認ください。		
メンテナンス		
洗浄剤は市販の中性洗剤をご使用ください。(アルカリ性洗剤、酸性洗剤またはシンナーなどの有機溶剤のご使用は避けてください。)清掃は柔らかい布、スポンジタワシ等をご使用ください。研磨剤の入ったスポンジは絶対に使用しないでください。清掃後、オルティノ表面に残った洗浄剤はきれいに除去してください。		
保管・輸送		
カーテンの段数	5段以内	
保管条件	38℃以下で保管し、1年以内で使用してください。	
輸送	梱包ケースは縦置きせず、寝かせて運搬してください。	
カット品	カット品のフィルムは離型紙を内側にし紙管に巻いて運搬してください。	
その他		
一般	洗剤	付着した汚れは速やかに除去ください。洗浄剤は市販の中性洗剤をご使用ください。(アルカリ・酸性またはシンナーなどの有機溶剤のご使用はお避けください。)清掃後、フィルム表面に残った洗浄剤は水できれいに除去してください。
	清掃用具	清掃は柔らかい布、スポンジ等をご使用ください。タワシ、スチールワール、研磨剤の入ったスポンジ等は使用しないでください。
水廻り	汚染材料の注意	毛染め液、ヘアマニキュア等を付着させないようご注意ください。また、漂白成分の含まれる洗剤を使用した場合、表情が変化する恐れがあるためご注意ください。
警告		
端材などを廃棄する際に焼却すると、塩化水素ガスなど有害なガスが発生します。危険ですので、法令に従い、許可を受けた産業廃棄物業者へ処分を委託してください。		

注意	
下地処理に用いるアイカ専用プライマーのご使用にあたっては、各製品の表示ラベル、取扱説明書に従い、換気・火気には十分ご注意ください。	
50m巻きは25kg以上の重量となりますので、荷扱いには十分ご注意ください。	
テーブルトップ、レジカウンターなど耐摩耗性を要求される部位にはメラミン化粧板のご使用をお奨めします。	

## シリーズ別注意点

シリーズ	注意点	内容
木目シリーズ	突合せ	柄パターンが大きいものは突合せ部分の柄が一致せず連続したように見えないのでご注意ください。
	傷	艶が低い製品は摩擦力が働くと傷が目立ちやすいため、取り扱いにごご注意ください。
マテリアルシリーズ	表面白化	過度な引き伸ばしは表面が白くなる恐れがあります。ご注意ください。また、エンボスが深い品番や濃色の品番は施工時、白くなりやすいためご注意ください。
ソリッドカラーシリーズ	外観	製法上、角度により筋が見える場合があります。
	隠蔽性	発色の高い品番や淡色の品番は他製品に比べ隠蔽性が低い恐れがあるためご注意ください。
インバトマット・スムースマット	注意	インバトマット・スムースマット(品番末尾MT)シリーズは取り扱いに十分な注意が必要な製品です。重ね貼りをする時は表面をサンディングして平滑にした後に、アイカ専用プライマーを塗布して貼り付けてください。フィルム表面にその他のものを接着する際もご注意ください。
		強く折り曲げると、表面にシワが残ります。施工時や保管時の取り扱いにごご注意ください。
ハイグロス	3次曲面	空気残りが生じた場合に穴あけ処理をすると白く目立つ場合があります。また、カット時に切断面が白く目立つ場合があります。特に濃色の製品では目立ちやすいので取り扱いにごご注意ください。
		インバトマット・スムースマット(品番末尾MT)シリーズは特殊表面加工のため、同柄のオルティノとは仕上げ・色調が異なります。
ハイグロス	傷	表面の特殊樹脂は柔軟性があるため、施工時のスキージングなどの圧力により白い押し跡のように見える場合があります。また、硬いものなどで表面の特殊樹脂が損傷すると復元いたしませんので取り扱いにごご注意ください。
		艶消しの風合いを出すために表面に特殊樹脂を使用しています。他のシリーズに比べ、傷、耐汚染性が劣ります。頻繁に人の手が触れる用途での使用はお控えください。特に濃色の製品は目立ちやすいためご注意ください。汚れが付いた場合はすぐに拭き取ってください。
ハイグロス	3次曲面	3次曲面への施工はご注意ください。施工を避けてください。
		過度の加熱により表面の特殊樹脂が変色・変質する恐れがあります。
ハイグロス	引き伸ばし	出隅加工で引き伸ばすと白くなる場合がありますが、ドライヤーなどで温めると目立ちやすくなります。過度に加熱すると表面の特殊樹脂が変色・変質する場合がありますのでご注意ください。
		有機溶剤が付着すると変色・変質の恐れがあります。ご注意ください。
ハイグロス	メンテナンス	下地の色
		下地の影響
ハイグロス	粘着層	下地の影響を受けやすい商品のため、下地調整を十分行い施工してください。
		粘着面がフラットタイプとなります。施工の際はご注意ください。
ハイグロス	3次曲面	3次曲面への施工は避けてください。
		水廻りへの施工
ハイグロス	引き伸ばし	水分のかかる場所への施工は避けてください。
		ドライヤー等で過剰に引き伸ばすと色調にムラが生じる恐れがあります。
ハイグロス	硬さ	ハイグロスタイプは特性上、他の製品に比べ硬いため、フィルムが割れやすくなります。20℃以上の温度環境で施工いただくことをお奨めします。
		汚れ
ハイグロス	方向性	フィルム表面の指紋などの汚れは高光沢のため目立ちますが、布で乾拭き/水拭きすれば除去できます。
		方向性
ハイグロス	水廻りへの施工	方向性がありますので、裏面離型紙口を同じ方向に合わせて施工してください。
		水分のかかる場所への施工は避けてください。
ハイグロス	下地の影響	メタリックシリーズの貼り後の外観は、他の製品に比べ下地の影響が大きいため、可能な限り平滑な下地にしてください。
		下記製品の粘着面はフラットタイプとなります。施工の際はご注意ください。フィルムの無難な貼り直しや過度な引き伸ばしは、メタリック層での剥離の原因となりますので避けてください。
メタリック	粘着層	VJC 18215F~15216F VJU 18154F~15157F VJV 18215F~18216F
		下記製品の3次曲面への施工は避けてください。 VJC 18215F~15216F VJU 18150E~18153E VJU 18154F~18157F VJV 18215F~18216F
メタリック	3次曲面	下記製品の3次曲面への施工は避けてください。
		VJC 18215F~15216F VJU 18150E~18153E VJU 18154F~18157F VJV 18215F~18216F
メタリック	外観	製法上、光の影響を受けやす角度により筋が見える場合があります。

メタリック	方向性	方向性がありますので、裏面離型紙口を同じ方向に合わせて施工してください。
	保管	高湿度の場所での保管はしないでください。
横柄	注意	製法上、左右の柄位置は異なるため、柄合わせはできませんのでご注意ください。目透かしや目地を入れることをお奨めします。
		本製品は屋内専用です。屋外で使用しないでください。
メタリック	注意	折り曲げシロは6mm以上を確保した上で施工してください。
		重ね貼りの場合、サンドペーパーでフィルム表面を十分にサンディングしてから、アイカ専用プライマーを塗布してください。
メタリック	注意	オルティノHDは特殊表面加工のため、折れ目・皺によりその部分が白化する恐れがあります。取り扱いに十分ご注意ください。
		オルティノHDは特殊表面加工のため、フィルムの折れ、シワによりその部分が白化する恐れがあります。取り扱いにごご注意ください。また、同柄のオルティノとは仕上げ・色調が異なります。
メタリック	傷	製品表面が砥粒のような細かい粒子に覆われているため、物が接触すると表面を削り取り損傷を与えることがあります。
		耐擦り傷性を向上した製品ですが、全く傷が付かないというわけではありません。
メタリック	3次曲面	3次曲面は避けてください。表面が白化する恐れがあります。
		爪やスキーなどでフィルム表面を擦ると、それらが削れるなどしてフィルム表面に汚れが付着し、白い傷のように見える場合がありますが、水拭きで清掃可能です。
メタリック	メンテナンス	傷が付きにくい製品ですが、表面の付着物によっては傷がつく可能性もあります。乾拭きの際はご注意ください。
		硬い布や有機溶剤は表面を傷つけたり変質させたりする場合がありますので使用しないでください。
メタリック	メンテナンス	お手入れにはナイロントわしやスチールワール、研磨剤入り洗剤などは使用しないでください。
		約5年*
メタリック	耐候年数	*1日本国内での使用を想定しています。耐候性年数は弊社試験結果に基づいて予想される年数であり、保証するものではありません。施工後の耐用期間は環境(下地の種類や施工箇所、方角、気候、地域等)により変化するため、5年未満で劣化する場合があります。
		オルティノEXは不燃材料として施工する際の下地は、平成12年建設省告示第1400号に示されている金属板またはアルミニウム合金板をご使用ください。
メタリック	注意	金属以外の不燃下地(石膏ボード・いかりカルシウム板等)に施工した場合は不燃対象外となりますのでご注意ください。
		内装用オルティノに比べ折れシワ、裂けが生じやすいためご注意ください。
メタリック	注意	傾斜面や水平面など垂直面以外の用途では劣化が早まります。
		屋外で使用する場合は石膏ボードやいかりカルシウム板など含水する下地は避けてください。
メタリック	注意	表面特殊加工を施しているため、一般的なオルティノに比べ伸縮性が少なくなっています。3次曲面施工は避けてください。
		低温環境では折れシワや裂け、フィルムの折り曲げ部分が白化する恐れがあります。屋外での施工での作業環境にはご注意ください。
メタリック	注意	屋外で使用する場合、接着面への浸水を防ぐため、ジョイントは重ね貼りしてください。重ね貼りはサンディングを行い、アイカ専用プライマーを塗布し、十分な圧着を行ってください。
		端部への止水処理を確実に行ってください。
メタリック	注意	雨風の天候下での施工は避けてください。
		カッター等で表面を傷つくと、傷の部分から接着面に浸水し膨れ割れの恐れがあります。ご注意ください。
メタリック	注意	屋外ドアへの施工は避けてください。蝶番、のぞき穴の取り付け具の周りから剥がれが発生する恐れがあります。
		常に潤滑状態にある場所での製品のご使用は避けてください。
メタリック	注意	オルティノEXは、内装用オルティノと同様に内装用途としてご使用いただけます。ただし、内装制限の適用部位へ施工される場合は、下地材料の選定にご確認ください。
		オルティノEXは特殊な表面加工がされているため、内装用オルティノとは色調調子が異なります。
メタリック	注意	過度の湿気や直射日光を避け、38℃以下の環境で保管し、1年以内に使用してください。
		塩ビ鋼板下地には使用しないでください。
メタリック	メンテナンス	汚れが付着した場合、中性洗剤をお使いください。なおシンナー等の有機溶剤はフィルムを傷す場合がありますので使用しないでください。
		小石、砂などが付着したままこすると、表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
メタリック	メンテナンス	小さなキズでも早めに補修することをお奨めします。
		工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。